― 追 悼 ―

菅原浩志監督　ありがとうございました

町を舞台とした「写真甲子園　0.5秒の夏」（2017年）、「カムイのうた」（2023年）などを手掛け、町の文化発信にも多大なご貢献をいただいた映画監督　菅原浩志氏が、11月12日、70歳で逝去されました。

菅原監督は数多くの作品を通して、東川町や大雪山系、北海道、そしてアイヌ文化の魅力を国内外に伝えてくださいました。その功績に深く感謝するとともに、これからも監督が大切にしてきた想いを継承していきます。

町では、その功績を称え、12月11日に町表彰条例に基づく特別功労表彰を授与しました。

菅原監督の主な経歴

北海道札幌啓成高校卒業後、アメリカ・カリフォルニア大学に留学し映画製作を学び、優秀賞を受賞。帰国後は『里見八犬伝』のプロデューサーを務め、1988年に『ぼくらの七日間戦争』で監督デビュー。各賞を受賞し脚光を浴びました。 その後も『ほたるの星』『早咲きの花』などの作品が国内外の映画祭で高く評価されています。

東川町とのご縁は、2014年に開催された「名水サミット」での菅原監督と当時の松岡市郎町長の登壇をきっかけに始まり、2016年には町内へ移住。以降、『写真甲子園 0.5秒の夏』（2017年）、『北の残照』、『ヌプリコロカムイノミ』など多くの作品を手掛け、2023年には生涯最後の監督作品となった『カムイのうた』を製作しました。

『カムイのうた』主な受賞歴

2023年8～9月

・カルカッタ国際カルト映画祭（インド） 国際長編映画部門賞・作品賞
・モントリオール・インディペンデント映画祭（カナダ）優秀長編映画 選出
・グランド・シネ・カーニバル モルディブ（モルディブ）長編映画部門 特別賞
・ハーキュリーインディペンデント映画祭（スペイン）長編映画部門 佳作

2024年11月

・ハリウッド映画祭（アメリカ）招待上映

町内追悼行事のお知らせ ※くらしの情報（15頁）もご覧ください

1.「菅原監督追悼コーナー」
とき：開催中～令和8年1月20日㈫
ところ：せんとぴゅあII内（北町1丁目1番2号）

2.「映画『カムイのうた』追悼上映」
とき：令和8年1月17日㈯14:30～17:30（予定）
ところ：農村環境改善センター　多目的ホール（東町1丁目15番3号）

3.「菅原浩志監督お別れの会」
とき：2月23日㈪・㊗14時～（予定）
ところ：せんとぴゅあⅠ講堂

▲2023年1月「カムイのうた」冬シーン撮影

▲2024年11月ハリウッドチャイニーズシアターに招待